

(2) 知的交流の推進

① 国際協力セミナー等の開催 (再 掲)

② 日米教員の交流 (25 決算額 0 千円)

【実施状況】

姉妹州・ワシントン州との友好交流事業の一環として、平成4年度より両県州教員の毎年相互派遣を行ってきたが、当事業の20周年及びワシントン州との50周年の節目を迎え、所期の目的を達成したことから、本事業を終了

【事業評価】

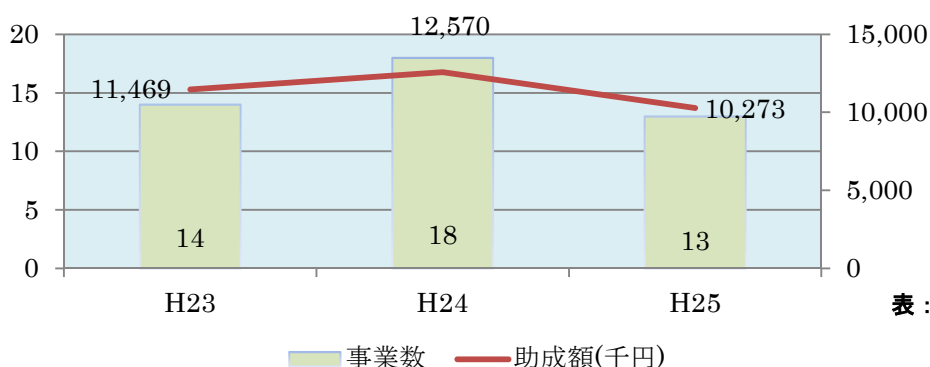
実績	○派遣教員数 兵庫県から107人、ワ州から157人 (平成4～24年度累計)
評価	○所期の目的達成による事業終了 教員の派遣を通じた両県州民の相互理解と交流促進に一定の成果をあげることができ、所期の目的を達成した。

③ オックスブリッジ英語サマーキャンプの実施 (再 掲)

④ 国際会議開催への助成 (25 決算額 10,273 千円)

【実施状況】

県内への国際会議誘致を促進するため会議開催費の一部を助成



【事業評価】

実績	○助成件数：13件 ○助成金額：10,273千円
評価	○効果的な助成制度の検討 東日本大震災の影響から回復した前年実績に比べ、件数が減少した。今後、より効果的で活用しやすい助成制度に改善する必要がある。

⑤ 国際会議場の活性化への支援 (25 決算額 501 千円)

【実施状況】

淡路夢舞台国際会議場の活性化を図るため、国際会議場を会場に各種会議、セミナー等を共催により開催

【事業評価】

実績	○こころづくり絵画教室の実施 ・実施日等 10月20日 参加者447名 (年間計画1回、600名)
評価	○次代を担う子どもたちの交流 外国籍20名を含む447名が、あいにくの雨天の中で思い思いの絵を描き上げると同時に、絵画を通じてお互いの文化などを相互に学べる機会として実施した。

(3) 国際理解の促進

① 国際交流団体等ネットワークの構築 (再 掲)

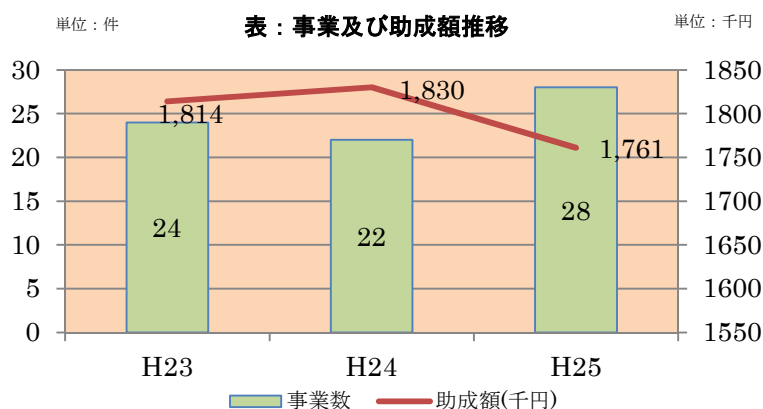
② 民間国際交流事業への助成 (25 決算額 1,811 千円)

【実施状況】

県民レベルの国際交流活動を育成・奨励するため、NGO、NPO 等の非営利活動団体が
行う先駆的・先導的な国際交流事業を助成



写真：竹の台ふれあいまつり



【事業評価】

実績	○助成件数： 28件 ○助成金額： 1,761,612円
評価	○県内各地で県民主体の国際交流・多文化共生事業を開催 県内各地で県民による多文化交流の行事や、海外との交流・協力目的の事業が実施されており、草の根レベルでの交流を促進する一助となっている。 なお本県の友好州省との交流促進のため、米国ワシントン州との姉妹提携50周年記念への訪問にあわせた事業に対しても助成した。

③ 国際協力セミナー等の開催 (25 決算額 254 千円)

【実施状況】

国際協力の専門家、県内NGOの活動家や青年海外協力隊OB等を講師に招き、
国別・テーマ別のセミナーやフォーラムを開催

【事業評価】

実績	○時期 7月6日 70名、2月15日 142人 (計画2回、180名) ○内容 「世界のこどもたちからまなぶ たいせつなこと～泣いて、悩んで、一緒に笑った 国際協力の現場から～」 (7/6) 「暮らしの中にあるイロイロな国際 協力のカタチ～“私たちにできること”を一緒に探そう～」 (2/15)
評価	○県民の国際協力への理解の促進 中高生・大学生から高齢者まで幅広い年齢層の参加があり、県民に国際協力について理解を深める機会を提供できた。 ○JICAとの連携の強化 JICAとの連携事業であり、定期的実施することにより当協会とJICAとの緊密な協力体制を築くのにも寄与している。

④ 友の会事業の推進 (再 掲)

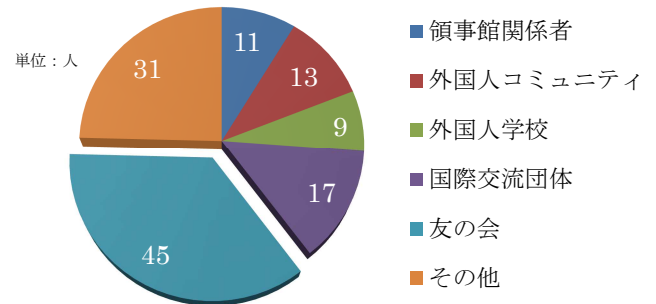
⑤ 交流の集いの開催(25 決算額 1,069 千円)

【実施状況】

友の会会員が参画と協働を基本に、兵庫県の各地域の文化や、外国の社会や文化芸術を学びながら、外国人県民や外国人の団体と交流を図る「交流の集い」を開催



写真：交流の集いの様子



表：参加者内訳

【事業評価】

実績	○参加者 148名（内友の会 45名） （在関西総領事館、国際交流団体、外国人コミュニティ等） ○実施日 3月1日
評価	○県民一人ひとりが主役の国際交流の推進 県内の外国人コミュニティや二国間団体、関西領事団と連携を深め、県民の国際交流を促進する機会を提供した。友の会会員が国際交流関係者と幅広く交流できる機会として、国際性の涵養に有意義である。

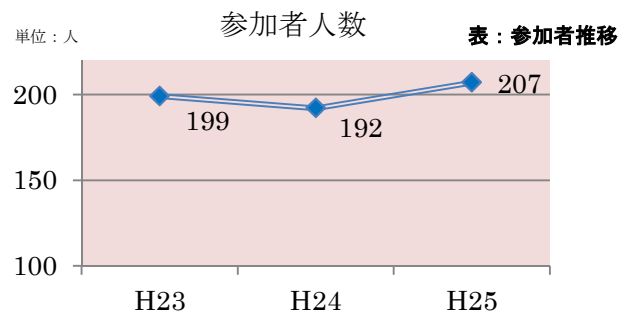
⑥ 日米教員の交流（再掲）

⑦ オックスブリッジ英語サマーキャンプの実施(25 決算額 1,932千円)

【実施状況】

オックスフォード大学及びケンブリッジ大学の学生を県内大学・高校等に派遣し、英会話授業や国際交流事業を実施

写真：学校での交流



表：参加者推移

【事業評価】

実績	○参加者 延べ207名（計画 210名） ○実施期間 7月17日～8月18日 ○受入団体／受入学生 9団体／8名
評価	○青少年の国際交流への意欲の高まり（アンケート結果より） 県内受入校のアンケート調査の「学生同士がすぐに打ち解けて和やかな雰囲気の中で授業・交流が進み参加者の満足度も高かった」といった回答に代表されるように、学生自らが進んで交流する姿勢を見せるなど次世代を担う青少年の国際交流を促進している。 また受入学生が講師となる英会話教室を通じて県民との草の根交流を行い、県民の国際理解の一助となっている。

⑧ 海外移住と文化の交流センターへの支援(25 決算額 1,000 千円)

【実施状況】

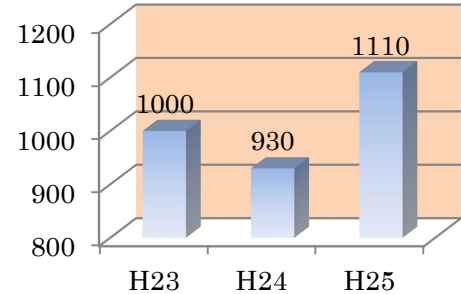
神戸市立海外移住と文化の交流センターにおいて、在住外国人が日本人へ自国文化を発信し交流する事業をNPO団体等との協働で実施し同センターを支援



左：サロン・カーナヴァウ
右：絵の交流展



単位：人



表：多文化交流フェスティバル参加者数推移

【事業評価】

実績	○多文化交流フェスティバル ・「ブラジル・日本の子どもの絵の交流展」 6月15日～7月31日 参加者約700名 ・「サロン・カーナヴァウ」 3月2日 参加者約410名 ○多文化交流子どもサミット 2月8日 参加者約50名
評価	○多文化交流フェスティバルの実施 ブラジルと日本に住むブラジル人の子どもたちが「宝物」をテーマに思い思いに描いた201点の絵を移住センターに展示。入賞者の描いた絵のうち優秀作品は2014年のカレンダーに使用され、配布されるなど、絵画を通してブラジルと日本の子どもたちの交流促進に寄与した。 また、「サロン・カーナヴァウ」は、参加者自らがダンスを練習した後、プロのダンサーを交えて踊り、会場は賑やかなカーニバルの雰囲気包まれた。 ○多文化交流子どもサミットの実施 神戸市やその近隣に在住する外国籍・外国にルーツを持つ子どもたちと、日本の子どもたちが集う子どもサミットを開催。音遊びを通じて交流を実施した。世界の様々な楽器が並べられた会場では、子どもたちが普段目にすることのない楽器もあり、音を出すのに試行錯誤があったものの、最後にはそれぞれお気に入りの楽器で全員で演奏の発表会が行った。

⑨ 広報紙（Come HIA）の発行（25 決算額 1,178 千円）

【実施状況】

国際交流・協力に関する各種情報及び協会の活動状況等を掲載した広報紙「Come HIA」を発行



図：Come HIA vol.80-82 と HIA パンフレット

【事業評価】

実績	○発行回数 年3回（8月、11月、2月）（計画 年3回発行） ○発行部数 各4,000部
評価	○魅力ある協会事業を様々な媒体で情報発信 手に取って親しみやすく魅力的な紙面を意識した広報誌「Come HIA」を、A4二つ折り4ページのコンパクトな構成で発行している。 ホームページブログ形式の「Come HIA（電子版）」では、タイムリーな情報発信を行うなど、紙媒体と電子媒体の2つを効果的に用いた情報発信を行っている。 また、協会事業を広く分かりやすく周知するため、協会パンフレットを日本語・英語で配布している。

⑩ 関係団体への支援

【実施状況】

EU協会や日本国際連合協会兵庫県本部、兵庫県海外移住家族会の活動を支援することで、国際問題や国際協力への関心を喚起するとともに、新たな交流のきっかけづくりを実施



写真：スウェーデン大使講演



写真：留学生向け交流プログラム
In 但馬での集合写真

【事業評価】

実績	○兵庫EU協会への支援（シンポジウム等イベント開催） - 講演 「スウェーデンから見た日本」6月8日 参加人員80名 - セミナー 「“フランス繁栄と発展の象徴” ノールと兵庫の出会い」9月19日 参加人員約100名
----	--

	3. 関連団体の支援 EUIJ関西や神戸日仏協会、神戸日独協会等が開催した講演会等を後援 ○日本国際連合協会兵庫県本部への支援（イベント開催） 1. 映画『未来を写した子どもたち』 参加人員 72 名 JICA 関西と共催 2. フォーラム 「国際機関で働く」への支援 11 月 30 日（土） 3. 留学生向け交流プログラム in 但馬 地引網・植樹・地域の方との交流 6月7日（金）～9日（日）3日間 参加人員32名 兵庫EU協会と共催 ○兵庫県海外移住家族会への支援 1. 会報「家族会報告記」の作成・配布（年1回）
評価	○講演等の実施による国際理解の促進 講演やセミナー、映画の上映などを通して、EUや国際連合の活動を広報する中で、県民に国際問題や国際協力について考える場を提供している。 また、留学生向け交流プログラムや、これから社会に出る学生を主な対象としたセミナー等の実施により、特に国際舞台で活躍できる青少年の育成、意識啓発にも注力した。

3 人づくりへの貢献

外国人留学生への支援や外国人研修員の受入等国際社会を担う次代の国内外の人材育成を進める事業を実施した。

(1) 外国人留学生の支援

① 私費外国人留学生奨学金の支給(25 決算額 70,560 千円)

【実施状況】

留学生の生活の安定を図り学習活動を支援するため、私費外国人留学生に対し奨学金を支給



写真：交付式典

【事業評価】

実績	○支給額 月額3万円 ○支給人員 延べ203名（計画 一般枠175名、アジア新興国枠25名）
評価	○学業成就への支援の成果（学業実績報告書より） 「奨学金のおかげで心配なく学業に専念でき、不慣れだった日本語もどんどん上達した」「帰国後は日本語を生かした仕事が決まった」などの声が寄せられており、学位取得、大学院進学、日本語を活かすことができる企業への就職など、学業支援の成果につながっている。 ○アジア新興国枠設定による支援 今年度から、県内中小企業が展開を予定している東南アジア等アジア新興国からの留学生の支援のため、「アジア新興国枠(特別枠)」を設定。経済成長の著しい国々からの留学生延べ23名に支援を行った。 ○交流会開催の検討 昨年の兵庫県包括外部監査で留学生のフォローが重要との意見を踏まえ、大学に進級・卒業報告を求めるほか、留学生同士が交流し、就職等の情報交換を行うことができる「意見交換会・交流会」を開催する。

② 留学生住宅機関保証推進システムの推進

【実施状況】

留学生の民間住宅への円滑な入居を進めるため、大学等が賃貸借契約の保証人となる機関保証の実施に当たって必要な資金を貸付

【事業評価】

実績	○貸付先 留学生版安全・安心ネット連絡会 ○貸付金額 100万円
評価	○円滑な機関保証の実施 25年度内での利用実績はなかったものの、加盟各大学が円滑に機関保証を行うことに貢献した。

(2) 人材育成

① ひょうご海外研修員の受入(25 決算額 4,101 千円)

【実施状況】

友好州省をはじめとする諸外国から研修員を受入れ、研修機会を提供することにより課題解決型の交流を実施



写真：研修風景等

【事業評価】

実績	○受入7名（※うち1名は経費負担はなし）（計画5名）		
	国名	受入期間	研修内容
	バングラデシュ	10月25日～11月2日	病理組織学、免疫組織化学
	モンゴル （※2名）	11月5日～11月18日	音楽
	中国・海南省	12月2日～1月29日	地域の国際交流推進
	ブラジル・パラナ州	2月3日～3月24日	柔道の指導法
評価	フランス・セヌ・エ・マルヌ県（2名）	7月11日～9月13日	防災と持続可能な開発 CGとWEBサイトの構築
	○人材育成に貢献 来日した研修員はいずれも本国において当該分野で今後の発展に貢献していく人物であり、研修機会を提供することにより国際協力に貢献した。 研修員が自らの専門分野を活かして地域社会への貢献を行う例や、県民から研修生のための通訳の申し出があるなど、国内でできる国際協力の形として、今後の研修員受け入れの新たな姿が期待される。		

② ひょうごトルコ友愛基金による支援(25 決算額 6,228 千円)

【実施状況】

ひょうごトルコ友愛基金支援事業の一環として、トルコから震災遺児を招き、日本の学生等との交流を実施

また、基金による支援が、平成26年8月をもって所期の目的を果たすことから、当基金に込められた志を引き継ぎ、これからのトルコの防災対策に関する人材育成等をめざして、教育・社会・文化の三つの分野において様々な事業展開を行う「ひょうご・トルコ地震防災対策プロジェクト」の協定調印に結実。引き続き、「防災・減災」を学ぶをテーマに「ひょうご・トルコ地震防災セミナー」を開催



写真：日本の生徒との交流



写真：プロジェクト調印式

【事業評価】

実績	○トルコ震災遺児の受入れ ・受入期間： 7月23日～7月30日（8日間） ・受入人数： 5名（引率者1名を含む） ○ひょうご・トルコ地震防災対策プロジェクト ・協定調印式：10月31日（於：トルコ共和国アンカラ市土日基金大ホール） ・調印者 井戸兵庫県知事、サドクラル土日基金理事長 ○ひょうご・トルコ地震防災セミナー ・基調講演：井戸兵庫県知事 ・パネルディスカッション報告：齋藤理事長 他
評価	○青少年の交流と相互理解の促進 トルコからの震災遺児が、大地震に見舞われた兵庫県、日本への見聞を深めるとともに同世代の生徒たちと貴重な相互交流を行った。交流を通じて、県内生徒にとっても普段なじみの薄いトルコについての見聞を深め、相互理解が進んだ。 ○協定締結後の取り組み これまで実施してきた青少年交流に加えて、兵庫県からの専門家を派遣するなど、社会、教育、文化の3分野においてトルコの防災に関する人材育成への貢献を推進する。

③ セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流の促進 (25 決算額 他事業で計上)

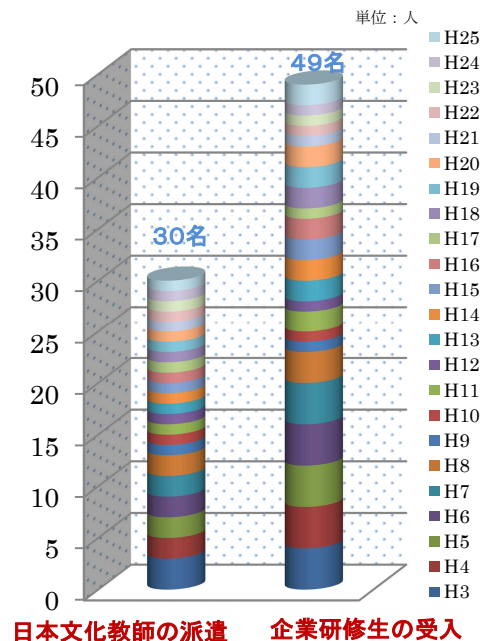
【実施状況】

セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流を行い、
両県民間の相互理解と友好関係を促進。



写真：日仏交流コーディネーター活動風景

表：交流開始（H3）
以降累積数



【事業評価】

実績	○研修員受入（ひょうご海外研修員制度を活用） ・実施期間 7月1日～9月13日 ・受入者数 2名（計画2名） ○日仏交流コーディネーター（日本文化教師）の派遣 ・派遣期間 平成25年10月～平成26年9月 ・派遣人数 1名（計画1名） ・派遣先 セーヌ・エ・マルヌ県内の大学及び セーヌ・エ・マルヌ県経済振興公社（SMD）ほか
----	--

評価	○両県間の相互理解の促進 セーヌ・エ・マルヌ県からの研修員による兵庫県内企業等での研修活動や、兵庫県から派遣する日仏交流コーディネーターによる兵庫県情報（経済・投資・観光・文化）等の発信が、両県間の相互理解を促進している。
----	---

④ 外国語指導助手(ALT)を活用した人材の育成(25 決算額 兵庫県教育委員会で計上)

【実施状況】

外国人指導助手(ALT)を活用して、高校生の海外留学支援や姉妹校等との国際交流の推進を図り、国際的に活躍できるグローバルな人材を育成

4 その他事業

① 篠原住宅管理事業(25 決算額 11,526 千円)

【実施状況】

兵庫県が所有する旧オーストラリア総領事公邸を協会が借り受け、関西地域で活動する外国人ビジネスマン等への住宅物件として賃貸し、国際交流施設として有効活用

実績	○所在地 神戸市灘区篠原本町 ○敷地面積 約 2,400 m² ○建物 鉄筋コンクリート造 2 階建 3 棟 (1,374 m²)
----	--

② 外国人児童生徒の居場所づくり [再掲]

③ セーフティネットとしての地域日本語教室開設事業 [再掲]

④ 外国人県民の居場所づくり：地域日本語教室支援 [再掲]

⑤ 外国人県民生活サポート活動の支援 [再掲]

⑥ 医療現場で役立つ日本語研修会の開催 [再掲]

⑦ 友の会事業の推進 [再掲]

⑧ 交流の集いの開催 [再掲]

⑨ 兵庫県海外移住家族会事業 [再掲]